

平成30年度 第3回学校運営協議会 記録

1 日時・場所

平成31年2月5日(火) 18:00～20:30 応接室

2 出席者

学校運営協議会委員（4名）

地元中学校長、卒業生、元本校教員、保護者

学 校 関 係 者（5名）

3 議事内容

(1) 会長挨拶

(2) 全日制の課程及び定時制の課程に係る平成30年度学校経営計画の自己評価及び平成31年度学校経営計画（案）について（説明者：准校長）

(3) 第2回協議会以降の学校の動向

- ・ 進路状況、キャリア教育について
- ・ クラブ活動の成績について
- ・ 懲戒の状況等について
- ・ 学校行事について
- ・ 健康診断結果について
- ・ 学校保健委員会について
- ・ 府教育庁による出前研修について
- ・ 単位修得指導について
- ・ 平成31年度行事予定（案）について
- ・ 学校教育自己診断、授業アンケートについて
- ・ 学校説明会について

4 協議（平成30年度の学校運営をうけて平成31年度の学校運営について提案）

【委員からの意見】

- ・ 第2回学校説明会の参加者62名という数字は、中学校訪問やホームページの刷新など、学校の努力が功を奏した結果としてうれしく感じる。
- ・ 府教育庁による出前研修では、3回にわたって学校の実情を考え、最終的に学校経営計画への提言に結びつける育成研修はよい取り組みだと思った。
- ・ 生徒会のボランティアは、現在地域清掃が年2回計4日間、保育園訪問が年2回2日間であるが、これが校外のボランティアに参加するきっかけになればよいと思う。
- ・ 様々な理由から学校に行けなくなった生徒が入学し定着するには、ある程度の自由度がある学校生活が必要ではないか。教員の人数が少なく大変だとは思いますが、細やかな対応を心がけてほしい。
- ・ 中学校ではエンパワメントスクールや定時制の課程等に進学する生徒の中にも大学などへの進学を希望する生徒が多くいる。三国丘高等学校では進学者が増えているので0時限等を活用して進学に向けた勉強ができるカリキュラムを考えれば独自性が出せるのではないかな。
- ・ 生徒数を増やすのであれば、小学校、中学校等でひきこもりの経験がある人を支援している団体や機関、市役所のケースワーカー等に情報提供をしてはどうか。